

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先 市民活動支援センター
 尾張旭市波川町三丁目5番地7
 (波川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878

新橋駅 万世橋
 駅跡を巡る。
 黎明期の
 鉄道を物語る
 赤煉瓦のアーチ探訪

赤煉瓦とは東京駅のイメージだが、赤煉瓦アーチは実は新橋駅から万世橋駅まで延々と続いている。この長大な明治大正遺産の醍醐味は電車に乗るとは分かりません。スライトは赤煉瓦アーチの創建時に依り新橋駅から山手線の手側には新幹線の軌道があるので皇居側の道を煉瓦のアーチに沿って歩いていく改めて見てみると高層のほとんどが煉瓦造り。



赤煉瓦の始発はやはり新橋駅。新橋駅を連設した赤煉瓦アーチの側面付の鉄道が通ったのは新橋、横須賀、たがその新橋駅とは後の汐留駅のこと。東京駅と赤煉瓦アーチは結ばれた旧島根駅が新橋駅の名前を引き継いでいる。

有楽町線から東京駅に向う通勤客、



建設から100年以上の時を耐えているのには驚かされる。



アーチ内は通海でつながっているところも神田駅から万世橋方面に向って歩くと、隣りアーチを穿かざる。

▲アーチの中には店舗が入居。震災前までは頑丈で、アーチ下にはまままな飲食店が入居している。

万世橋界隈は明治以降、問屋街が形成され、青席や飲食店が次々に開業する東京でも有数の繁華街だった。そのための万世橋駅は新橋と結ぶ中央線のタイムズビル駅として期待され、赤煉瓦駅舎建設もその土地に合った。

しかし1972年に開業した万世橋駅の栄華は短かった。1974年東京駅が開業し、中央線のタイムズビル駅を廃止し、水更に震災で赤煉瓦の駅舎を失った。

ただこの加鉄道万世橋から、幻のタイムズビル駅として人気は高い。

万世橋駅の幻の赤煉瓦駅舎

